

平成22年度の実施事業所にお話を伺いました。

福井県済生会病院

福井県済生会病院では、夏休み期間中の7月29日、職員家族の小学校4年生から6年生の20名が親と一緒に出勤、心肺蘇生などの救命措置の方法を学んだ後、「病院見学ツアー」として親の働く現場を見て回り、さまざまな職場体験を行う「済生会サマースクール」を実施しました。

経営企画課長の齋藤哲哉さんによると、

親の働いている姿を見ることで仕事のやりがいや喜びを感じてもらうことや、医療に関わる仕事に対する理解を深めてもらうことを目的として企画されたようです。



（親の仕事である）医療に興味を持ってきてよかった。子どもにとっていい体験となった」と満足げに語っていました。職員からは、「子どもの元気をもらい、職場が明るくなった」「ぜひ続けてほしい」などの感想も寄せられました。職員自身の仕事へのやる気や満足度向上にもつながったそうです。病院では、来年度以降も実施することとし、現在内容を検討しています。



参加した子どもたちからは、「家にいるときとは全然ちがってキリッとした真剣な表情で、お母さんの仕事の大変さが良くわかった」「仕事をしている姿はカッコよかった」「仕事で家にいないのは寂しいけれど、お母さんは私のために仕事をしてくれるので応援する」などの感想が寄せられました。

参加者のひとり脳神経外科部長の高島靖志さんは、「子どもが



齋藤経営企画課長(左)、高島脳神経外科部長(右)

会社イベント(商品説明会、展示会等)への家族招待、社内見学会、職場体験など、実施の方法は様々です。

業務形態に合わせた無理のない方法で、是非実施いただきますようお願いいたします。

